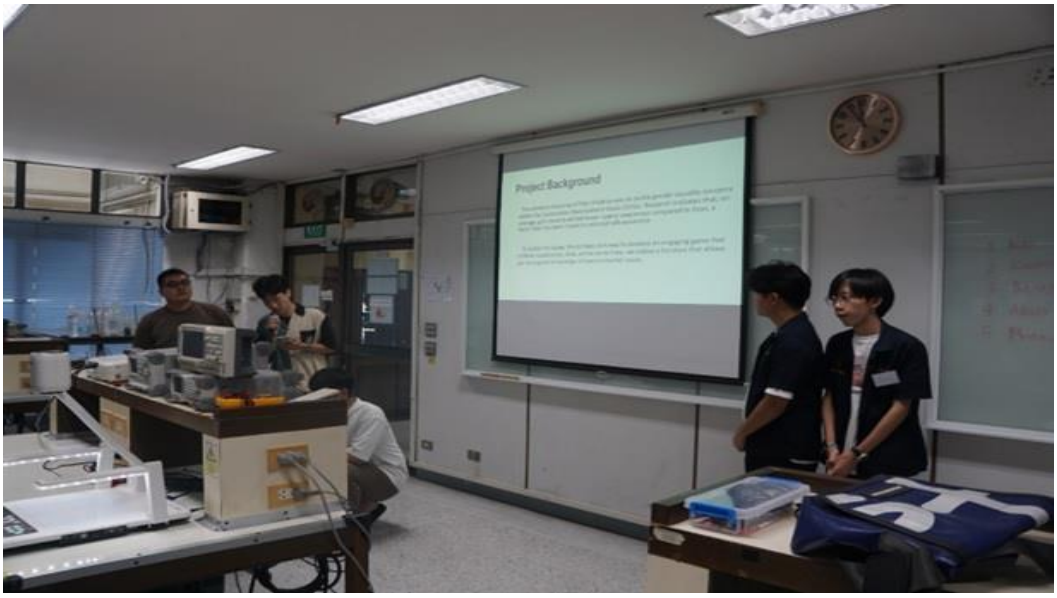
芝浦工業大学 SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2023年度グローバルPBL（派遣）実施報告

電子工学国際インターンシップ2

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年08月28日 ～2023年09月05日	タイ	キングモンクット工科大学トンブリ校	・電子工学科、電気工学科、基幹機械コース、機械機能工学科 ・学部3年生、学部4年生	（芝浦工業大学） 学生13名、学生バイト1名、教員3名、職員1名 （キングモンクット工科大学トンブリ校） 学生11名、教員3名	小池　義和（電子工学科）横井　秀樹（電子工学科） 加納　慎一郎（電子工学科）



プロジェクトについての発表会

2023年度電子工学科主催のキングモンクット王立工科大学（KMUTT）のElectronics and Telecommunication Engineering (ENE)学科とのgPBLの派遣プログラムを実施した。今回もプログラムは双方向で実施しており、9月に本学電子工学科の学生がタイ・バンコクに渡航し、現地でワークショップを行った後、10月終わりから11月初旬にKMUTT・ENE学科学生が来日し、本学で同じメンバーでワークショップを行う内容となっている。本学の学生は、原則、派遣と受入の両方のプログラムの参加することとなっており、派遣のプログラムで電子工学国際インターンシップ2の2単位が付与され、受入のプログラムで受入型グローバルPBL1または2の2単位が付与される。

コロナ感染が第5類となったことから、参加条件にワクチン接種の条件がなくなったことから定員を超える応募があり、13名を選出している。また、KMUTT・ENE学科の学生は約20名の応募があり、事前試験と30分を超える面談で11名の参加者を選抜したとのことである。

本年度は、参加者が4名または5名の5チームに分かれて、各チームはSDGsを関わるデバイスを作成するようになっていた。プログラムでは2回の発表を行っている。昨年度と比較するとアクティビティはもう少し高くなってほしいと教員は感じていた。SDGsに関わることから、太陽光を利用したシステムに取り組むチームが多かったところが特徴的であった。10月終わりから受入フェーズを開始するが、プロジェクトの内容が発展し、学生同士の交流が深まることを期待している。

ワークショップでの議論

Filed tour

プロジェクトプランの例

画像などコンテンツの無断転載を禁じます。